卓球界で活躍したOB二人

今回は、大正期より昭和期にかけ、卓球界で活躍した二人のOBを紹介し、優れた功績の足跡を探ってみる事にする。

伏見義雄氏

本校に卓球部が創部されていなかった大正期に、当時、庭球部主将で五年生だった伏見義雄氏（第23回・大正13年卒）は、校内マラソン大会では、常に優勝する実績を買われ大正十二年に沼津～静岡（約五十八㎞）の校内マラソンに挑戦し、当時橋のなかった、富士川を船で渡るために大休止があったり、途中数ヶ所の休息時間を取りながらも、所要時間、五時間二十五分で完走し地元紙に大きく紹介され話題となった。

全米卓球大会で優勝した伏見氏

大正十三年三月に卒業した伏見は、静岡三十五銀行（現静岡銀行）に就職したが、貿易業に従事する事を志し、親戚を頼り渡米し、お茶の貿易商社で働きながら、余暇に、テニスのラケットから卓球のラケットに持ち替え各種大会に出場する様になった。天性の運動能力に恵まれ、インサイドワークに秀れた彼は、めきめきと頭角を現し、昭和五年には全米卓球トーナメント大会で優勝し、世界卓球選手権に全米チームの一員にも選出されたり、国民的英雄だったベーブ・ルースとも会見したりしている。

現役を退いた後も、伏見氏は、コーチ、レフリー、プロモーターとしても活躍し、卓球仲間だったドイツ系米国女性と結婚する。

昭和十六年に太平洋戦争が勃発し、彼は職も奪われ、苦難の時代を迎えたが、卓球を通じて得られた友人達のお陰で、大した迫害にも合わず、乗り越えることができた。

やがて日本から、卓球選手団が訪米すれば、レフリーや通訳等も努め、全米卓球協会は表彰状を贈り彼の功績を称えた。

伏見義雄氏は「剛健進取」の校訓を国際社会の中で体現した一人であった。

また、第七代同窓会長伏見三郎氏は、同氏の弟である。

（静商百年史参照）

山田佝孝氏

次に、終戦直後の昭和二十年に本校卓球部が創部した頃、山田佝孝氏（第52回・昭和26年卒）が二十三年の第三回福岡国体に初出場した。当時のマッカーサー杯争奪ピンポン大会にも静岡県代表チームのメンバーにも選出され、山田氏の自宅には、卓球台が完備されていて、練習に明け暮れる日々が続き技を磨き、二十四年の第四回東京国体にも連続出場し、翌二十五年の全国高校総体には、一年後輩の佐藤行雄氏（故人、第53回・昭和27年卒）と共に出場し、山田氏の力量は、すでに全国で注目されていた。

本校卒業後は、専修大学に進学し、二十九年の第九回北海道旭川国体において、当時の世界チャンピオンだった、荻村伊智郎組らを破って、国体優勝に輝き、世界選手権、アジア選手権の日本代表にも選出され、教職員時代だった三十五年の熊本国体では準優勝し、通算で国体出場が二十回にも及び、全国の顔となり、その間にも後進達の指導にも当たり、三十年代の本校卓球部の後輩だった、現同窓会会長平野健市氏（第60回・昭和34年卒）も山田氏より指導を受けた一人だった。

選手として指導者として、実績を残し、数々の表彰を受け、後に静岡県卓球協会会長として十年間尽力し、平成十七年に、体育功労章を受章し、十九年には幼稚園教育に多大なる功績が認められ、天皇陛下より、「瑞宝双光章」を叙勲された。

末筆ながら今回、資料提供にご協力頂きました元静商教諭伏見勝氏（第54回・昭和28年卒）、卓球部OB桜井晴一郎氏（第65回・昭和39年卒）には厚くお礼申し上げます。

（番記者藤田）

第七回静商成人の会

校歌で会場が一つになった

実行委員長　木下　智貴

平成二十四年一月七日㈯クーポール会館にて第七回静商成人式を開催させていただきました。当日は、卒業生、お世話になった先生方、そして同窓会役員の方々を合わせ、約百八十人が集まり、素晴らしいひと時を過ごす事ができました。開催に伴い、たくさんの方々にご協力いただき大変感謝しています。

皆、卒業以来の久々な再会だったために、式の初めはまとまりがありませんでしたが、校歌が流れると一斉に熱唱し、会場がひとつになりました。これが静商なんだなと感銘を受けました。その後も会場の雰囲気は良く、高校時代の話に花を咲かせたり、写真を撮ったりと、皆楽しそうにしていました。皆の笑顔を見ると、努力したかいがあったと実感します。今までの苦労が吹き飛んでしまいました。

今回の会を開催するに当たり、案内状の作成や宛名シール、会場のことなど細部にわたり同窓会の先輩方の支えがありました。私が高校生の時には特に何も考えずに高校生活を過ごしていましたが、先輩方の支えがあったからこそ、過ごせていたことを知りました。同窓会にも参加させていただいたのですが、とてつもないほどの静商愛を感じました。高校三年間を有意義に過ごさせていただいたので、私も恩返しをしなければと思いました。先輩方のように静商を思いやる気持ちを少しずつ出していけたらと思っています。

また何年後か、また何十年後かになるか分かりませんが、同期会を開催したいと思っています。皆どのように変わっているか楽しみですね。その時はまた、ご協力をお願いします。最後になりますが、今回幹事をやらせていただき貴重な経験をすることができました。私はもっと良い大人になれるようにこれからも努力していきます。静商に入学して間違いありませんでした。

ありがとうございました。

第8回同窓会

ゴルフ大会

第69回卒　古川衛氏が優勝!!

平成二十三年十月十九日、一〇〇の名参加者を得て、静商同窓会ゴルフ大会は開始された。曇り、微風、ゴルフ環境すこぶる良好なり。東名集中工事のため道路は、毎年のことながら渋滞です。

今回は幹事とゴルフ場の手違い、勘違いがあったようでスタート時間が56分ほど遅くなりました。

よって、通常の表彰式まで行いますと大変遅くなり、車の運転にも通常以上の注意が必要となりますので今回は、表彰式をやめました。スコアも、半分の記録で競う形を執りました。でも、賞品は例年通り豪華です。

前年度の記事でも多くの賞品を紹介しているので今回は省きたいのですが、数点ご紹介致します。

米・高級ワイン・初亀大吟醸・八千代寿し鐵鮨券・生桜エビ、釜上げシラス等々盛りだくさんです。

賞品寄贈者のご紹介の前に成績の発表です。

優勝は、古川衛さん（第69回卒）out34、hdcp-0、第二位は、山内一郎さん（第63回卒）out44、hdcp-9.6、第三位は岡本政俊さん（第62回卒）out41、hdcp-6.0でした。

ちなみに、次回、参加を検討中の方、100位の方は73をたたいて頑張っていらっしゃいました。

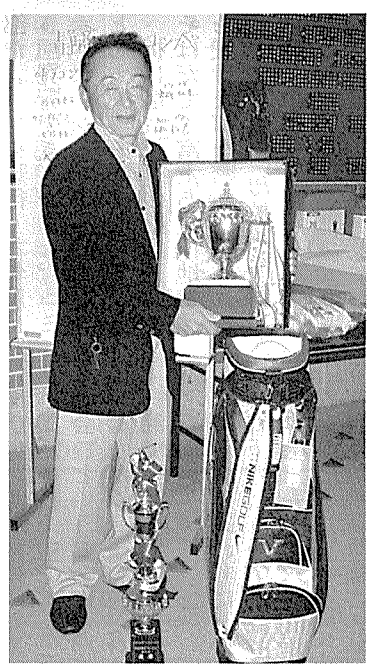
会費の内、五〇〇円は静岡新聞「愛の都市訪問」に寄贈させていただきました。

賞品寄贈者御芳名（順不同）

平野会長（第60回卒）、桑原副会長（第60回卒）、河口総務委員長（第61回卒）、大塩正一様（第63回卒）、赤石副会長（第65回卒）、伊藤幹事長（第69回卒）、佐藤若江様（第86回卒）、富士見ヶ丘CC様

ありがとうございました。

（宮）


優勝した古川衛氏（第69回卒）

定時総会の当番幹事を終えて

ありがとうございました

当番幹事を終えて　第71回卒（昭和45年卒）

平成二十四年度同窓会定時総会は、六月二日㈯に開催。当番幹事は昭和45年第71回卒が務めさせていただきました。

当日は、静商音楽部、応援団、チアリーダー、各OB・OGの皆様にご協力を頂き「皆で大いに歌おう!! SEISHOメロディー」と銘打った音楽イベントを開催し、大きな反響とご好評をいただきました。ご出演頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

懇親会には、七一二名の同窓生にお集まり頂き、熱気あふれる懇親会会場には、静商パワーがみなぎっていました。盛大に同窓会総会を終えました当番幹事の活躍で、多くの同窓生で賑わった懇親会。のも同窓会各位のご協力と、先輩諸兄のご指導の賜物であります。第71回卒を代表して御礼申し上げます。

また、七月四日、総会の余剰金を寄付金として同窓会よりイベントにご協力いただいた母校の各部活にお礼の意味と今後の充実した活動のために贈呈させていただきましたことをご報告させていただきます。

（実行委員長　鈴木誠）

来年は 平成25年6月8日（土）開催

平成25年度同窓会定時総会の大役を仰せつかわりました第72回卒生です。歴代先輩方によって培われてきましたすばらしい定時総会を、より以上皆様にご満足いただけますよう、第72回卒全員にて全力を尽くす所存でございます。一人でも多くの同窓生のご参加をお願いいたします。

来年は第72回卒の番だ！

当番幹事　第72回卒（昭和46年卒）が担当

第72回卒生。当番幹事の引継式
次は俺たちの番だと力が入る

平成25年度定時総会・懇親会の概要

・平成25年6月8日（土）

・ホテル センチュリー静岡

◎講演会（予定）

4階　クリスタルルーム

開演　15時30分～17時00分

講師　山本浩二氏（予定）（プロ野球解説者）

◎定時総会（予定）

4階　クリスタルルーム

開会　17時30分～18時15分

◎懇親会（予定）

5階　センチュリールーム

開宴　18時30分～

（実行委員長　徳田智之）